



年 組 名前

# 道新でワークシート

## ニセコで学生インターン

【江別】札幌学院大は、学生が最長で4カ月間、後志管内の倶知安町やニセコ町の宿泊施設などで働きながら、外国人観光客への接遇や英語を学ぶユニークなインターンシップ（就業体験）を導入する。就業体験は大学の単位として認め、北海道の魅力を国外に発信できる人材の育成を目指す。2019年度から実施する予定だ。

学部は問わないが、主に2年

### 札幌学院大、19年度から

生が対象。参加を希望する学生は、事前に英語や国際関係を学ぶ講義を受講する。学内の選考を経て、観光客が集中する冬期間（12～3月）、現地に滞在しながらホテルや飲食店で働き、英語力やコミュニケーション力を磨く。受け入れ企業からの評価や学生が提出するレポートを

### 外国人への対応学ぶ 単位も認定

基に、大学が単位を認める。参加者は年間で20人程度を想定している。

今後、後志総合振興局が大学生らを対象に昨年から手掛けている就業体験事業「Shiribeshi（しりべし）留学」と連携し、受け入れ先の開拓などを進める方針。

担当の玉山和夫教授（金融論）は「将来的に北海道を世界に売り込める人材を育てたい」と話している。

2018年3月6日夕刊社会面

①「学生インターン」とはどのようなものか、簡単に説明しなさい。

②働きながら接遇や英語を学ぶユニークなインターンシップを行う理由を答えなさい。